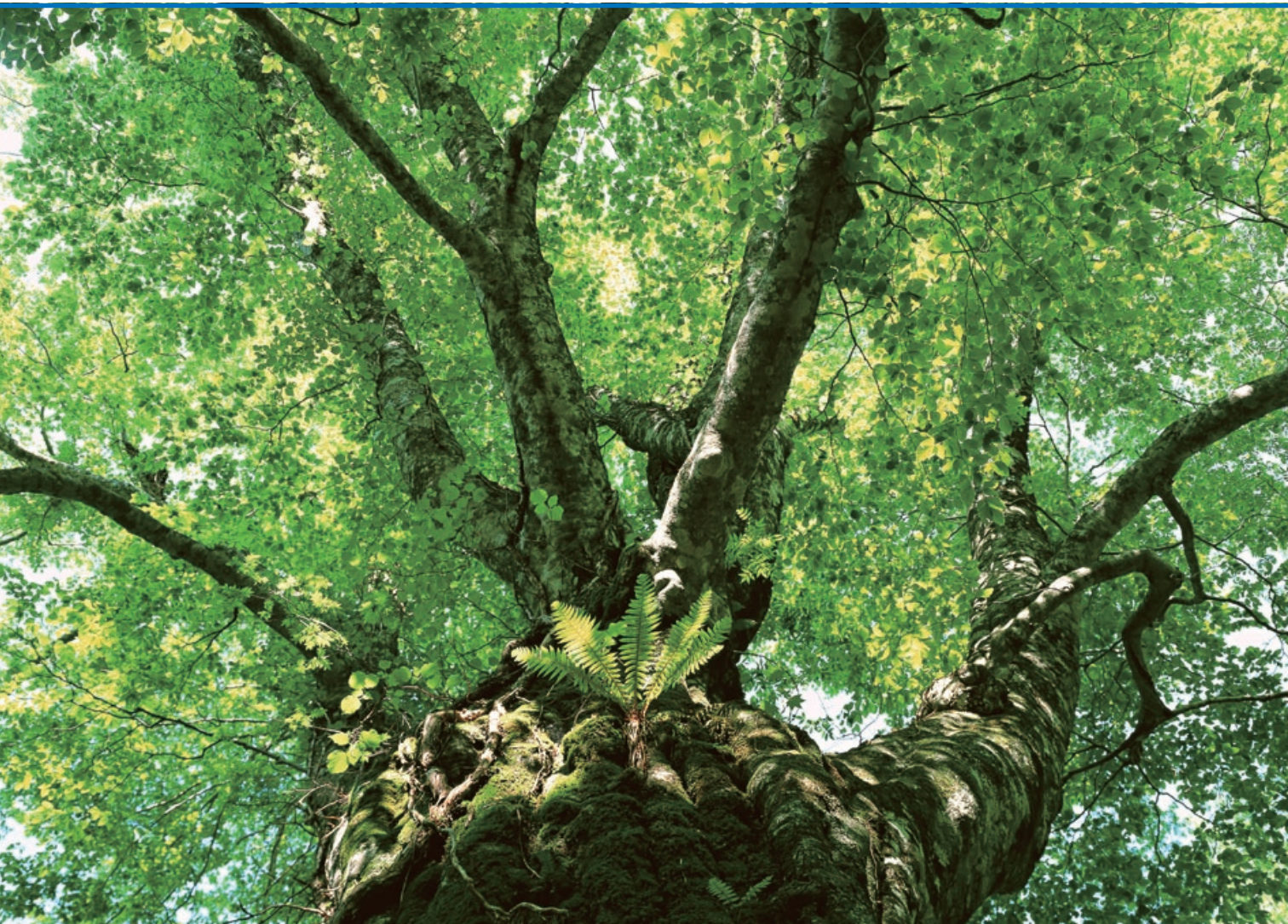


第133期 中間報告書

<平成23年4月1日～平成23年9月30日>



関東および中部圏を拠点として、 きらりと光る総合物流企業を目指す。

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、ここに当社グループ第133期中間期（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）の中間報告書をお届けいたします。



代表取締役会長 木全 英一



代表取締役社長 白石 好孝

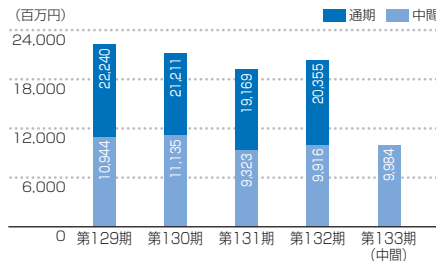
当中間連結会計期間における日本経済は、東日本大震災からの復旧とともに企業の生産や輸出は概ね震災前の水準まで持ち直しをみせ、個人消費においても回復の兆しを見せております。一方で、原子力発電所の事故や欧州の金融不安を背景に長期化する円高などの影響から、依然として不透明な状況が続いております。

物流業界におきましては、生産、個人消費が緩やかに回復したことにより、貨物取扱量

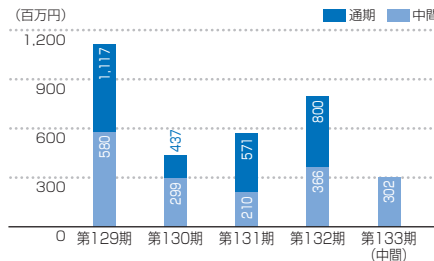
FINANCIAL HIGHLIGHTS

連結財務ハイライト

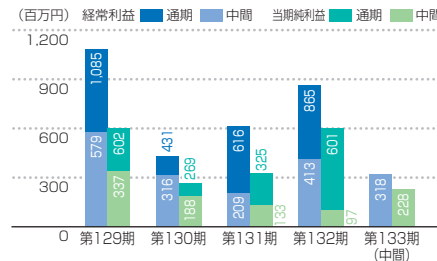
営業収益



営業利益



経常利益・当期純利益



は国内貨物においては堅調に推移し、輸出入貨物においては、自動車関連の輸出減少により低調に推移いたしました。在庫量においても、震災以降低調に推移いたしました。

このような事業環境の下、当社グループは、『共生・健全・発展』の三つのキーワードを念頭に、より一層の営業力の強化と業務品質の向上を図るとともに、経営の効率化を推進し経費の節減に努めてまいりました。

こうした中、関東地区拠点における震災の復旧作業に全力を注ぎ早期に完了いたしました。また、昨年度から開始したインターネット通販による個人向け配送業務や食料工業品の取扱、3PL業務が堅調に推移いたしました。一方、名古屋港を中心とした輸出入貨物の取扱量は、農産品や化学薬品の工業品の取

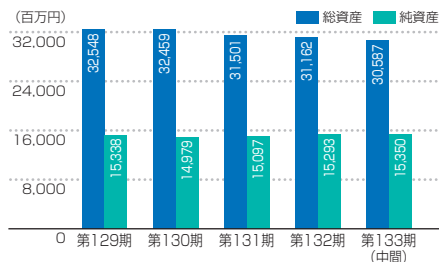
扱が増加したものの、経済環境の影響もあり輸出貨物の取扱が後半低調に推移いたしました。

この結果、当中間連結会計期間の連結営業収益は99億8千4百万円（前年同期比0.7%増）となりました。連結経常利益は、3億1千8百万円となり、前年同期に比べて9千5百万円の減益となりました。また、特別損益を加減いたしました結果、連結中間期純利益は2億2千8百万円となりました。

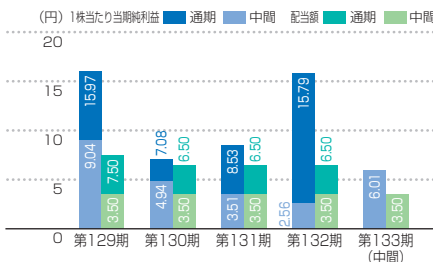
株主の皆様におかれましては、なにとぞ引き続き格別のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年12月

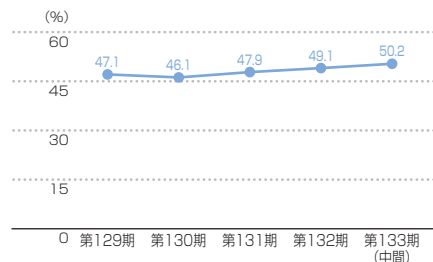
総資産・純資産



1株当たり当期純利益・配当額



自己資本比率



中間連結貸借対照表

(単位:千円)

科 目	当中間期	前期
	[平成23年 9月30日現在]	[平成23年 3月31日現在]
資産の部		
流動資産	5,125,781	5,873,271
固定資産	25,461,605	25,289,702
(有形固定資産)	19,362,590	19,320,600
(無形固定資産)	186,093	197,779
(投資その他の資産)	5,912,921	5,771,322
資産合計	30,587,386	31,162,974
負債の部		
流動負債	5,009,479	5,271,007
固定負債	10,227,893	10,598,334
負債合計	15,237,373	15,869,341
純資産の部		
株主資本	15,289,928	15,175,890
資本金	3,412,524	3,412,524
資本剰余金	2,178,906	2,178,964
利益剰余金	9,985,381	9,870,790
自己株式	△286,883	△286,389
その他の包括利益累計額	60,084	117,742
その他有価証券評価差額金	60,084	117,742
純資産合計	15,350,013	15,293,632
負債・純資産合計	30,587,386	31,162,974

資産の部

主に、法人税、倉庫建設の支払いに伴う預金の減少、減価償却による有形固定資産の減少等により資産合計は、前期末比5億7千5百万円の減少となりました。

負債の部

主に、借入金の返済および未払法人税等の減少等により、負債合計は、前期末比6億3千1百万円の減少となりました。

中間連結損益計算書

(単位:千円)


科 目	当中間期	前中間期
	[自平成23年4月1日 至平成23年9月30日]	[自平成22年4月1日 至平成22年9月30日]
営業収益	9,984,786	9,916,189
営業原価	9,242,396	9,146,682
営業総利益	742,390	769,507
販売費及び一般管理費	439,891	403,013
営業利益	302,499	366,493
営業外収益	107,370	154,532
営業外費用	91,411	107,100
経常利益	318,458	413,925
特別利益	39,703	13,001
特別損失	37,615	147,930
税金等調整前中間純利益	320,547	278,996
法人税、住民税及び事業税	57,818	147,604
法人税等調整額	33,826	33,703
少数株主損益調整前中間純利益	228,902	97,688
中間純利益	228,902	97,688

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科 目	当中間期	前中間期
	[自平成23年4月1日 至平成23年9月30日]	[自平成22年4月1日 至平成22年9月30日]
営業活動によるキャッシュ・フロー	361,069	697,863
投資活動によるキャッシュ・フロー	△694,881	△346,137
財務活動によるキャッシュ・フロー	△499,044	△405,615
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,470	△1,623
現金及び現金同等物の増減額	△834,326	△55,512
現金及び現金同等物の期首残高	2,240,319	1,754,230
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,405,992	1,698,717

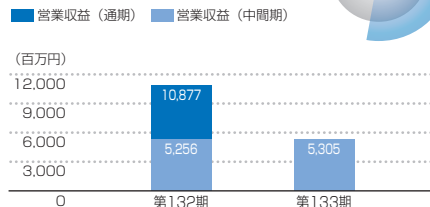
国内物流事業部門

営業収益 53億5百万円 (前年同期比0.9%増) 


53.0%



関東地区では、東日本大震災による影響も一時的に発生しましたが、国内における生産、個人消費が緩やかに回復したことにより、化学工業品及び食料工業品の取扱が増加いたしました。この結果、営業収益は、前年同期より4千9百万円増加し、53億5百万円となりました。



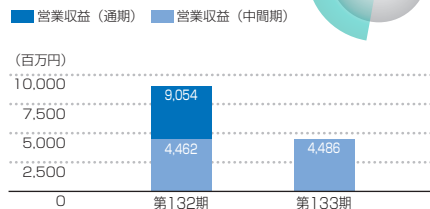
国際物流事業部門

営業収益 44億86百万円 (前年同期比0.5%増) 


45.0%



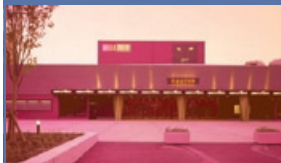
金融市場の不安定化や欧米経済の減速、円高の進行により、輸出貨物の取扱、船内作業の取扱及び航空貨物の取扱が低調に推移いたしました。この結果、営業収益は、前年同期より2千3百万円増加し、44億8千6百万円となりました。



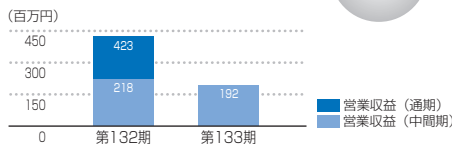
不動産事業部門

営業収益 1億92百万円 (前年同期比2.0%減) 

2.0%



請負の受注が増加したものの、テナント賃貸収入や時間貸駐車場収入が減少したことにより、営業収益は、前年同期より4百万円減少し、1億9千2百万円となりました。



当中間連結会計期間における現金及び現金同等物の残高は、14億5百万円となり、前年同期比2億9千2百万円の減少となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー

主として、法人税等支払額の増加及び投資有価証券評価損等の減少により、前年同期と比べ収入が3億3千6百万円減少し、3億6千1百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

主として、有形固定資産の取得による支出の増加により、前年同期と比べ支出が3億4千8百万円増加し、6億9千4百万円の支出となりました。

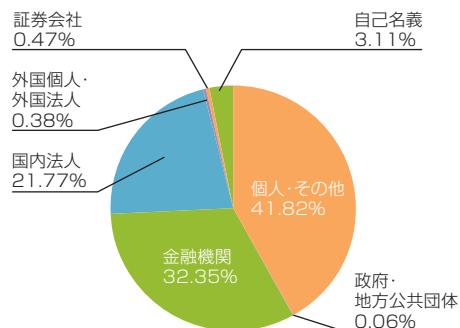
財務活動によるキャッシュ・フロー

主として、長期借入による収入の減少等により、前年同期と比べ支出が9千3百万円増加し、4億9千9百万円の支出となりました。

株式の状況

発行可能株式総数 100,000,000株
 発行済株式の総数 39,324,953株
 株主数 4,729名

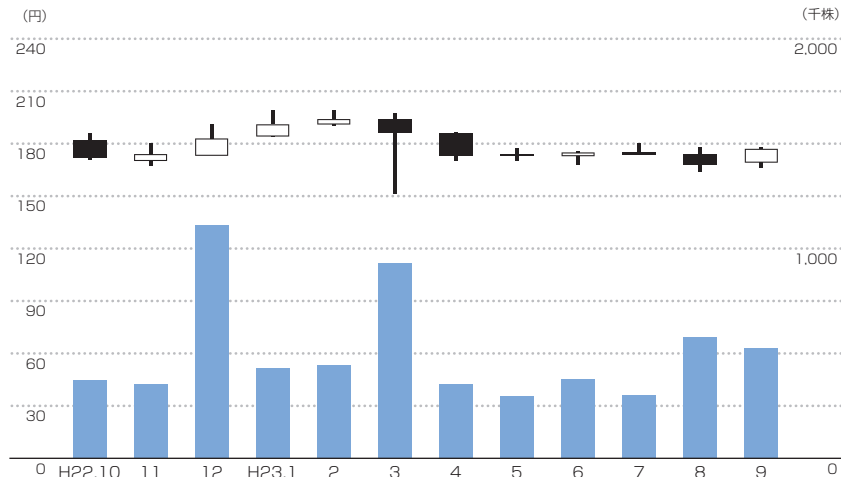
所有者別持株状況



大株主

株主名	株式数（千株）	持株比率（%）
三井住友海上火災保険株式会社	1,353	3.44
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	1,273	3.23
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,270	3.23
東陽倉庫株式会社	1,224	3.11
第一生命保険株式会社	1,172	2.98
株式会社中京銀行	1,081	2.75
中京テレビ放送株式会社	1,000	2.54
明治安田生命保険相互会社	976	2.48
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	764	1.94
白石亨子	706	1.79

株価と出来高の推移



ホームページのご案内

当社のホームページでは、事業内容や会社概要のほか、IRに関するニュースリリースや、報告書、株主の皆様からの「よくあるご質問」のコーナーも設けております。

東陽倉庫

検索

<http://www.toyo-logistics.co.jp/>

概要

商 号：東陽倉庫株式会社（TOYO LOGISTICS CO.,LTD.）

所 在 地：名古屋市市中村区名駅南二丁目6番17号

設 立：大正15年3月13日

資 本 金：3,412百万円

事 業：総合物流事業・不動産事業

当社は、次の認証等を取得しております。

AEO認定通関業者（国際営業本部、セントレア営業所）

ISO14001（本社、国内営業本部（小牧営業所、名古屋北営業所、トランクルーム部）、国際営業本部（住化物流営業所）、東京営業本部（市川営業所、相模原営業所、宇都宮営業所））

ISO9001（輸出海上貨物取扱）、ISO27001（トランクルーム部）

グループ会社

国内	東陽物流株式会社
海外（※）	東営（上海）国際貨運代理有限公司（中国）
	TOYO LOGISTICS(S) PTE.LTD.（シンガポール）
	TOYO LOGISTICS AMERICA,INC.（米国）

※非連結子会社

株主メモ

事業年度：4月1日から翌年3月31日まで

剰余金の配当の基準日：期末配当 3月31日

中間配当 9月30日

定時株主総会：6月下旬

単元株式数：1,000株

公告の方法：当社ホームページ
<http://www.toyo-logistics.co.jp/>
 に掲載いたします。
 ただし、やむを得ない事由により上記
 において提供できないときは、日本経
 済新聞に掲載いたします。

役員

代表取締役会長（C.E.O.）：木全 英一

代表取締役社長（C.O.O.）：白石 好孝

代表取締役（常務執行役員）：武藤 正春

取締役（常務執行役員）：今井 和光

取締役（常務執行役員）：山岸 博之

取締役（常務執行役員）：武川 元保

取締役：辻本 武

取締役：佐藤 亨

常勤監査役：水野 和仁

監査役：村橋 泰志

監査役：近藤 克麿

執行役員：伊藤 茂寿

執行役員：村上 幸久

執行役員：大橋 宏道

執行役員：若山 英二

執行役員：黒田 城児

株主名簿管理人：東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先：〒137-8081
 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 ☎ 0120-232-711（フリーダイヤル）

特別口座管理機関：東京都港区芝三丁目33番1号
 中央三井信託銀行株式会社

上 場 市 場：東京証券取引所
 名古屋証券取引所（各市場第一部）

「もの」づくり、人の「暮らし」を支える 総合物流業

お知らせ

1. 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

2. 未払配当金のお支払について

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申出ください。

3. 配当金計算書について

配当金支払いの際郵送している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基く「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付書面としてご利用いただくことができます。なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。

※確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

